

クロッキー・オール・カントリー 高配当株指数の推移

オール・カントリー好配当リバランスオーブン（資産成長型）／（年4回決算型）
追加型投信/内外/株式

- 当ファンドは、投資信託証券「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー・オール・カントリー高配当株指数*（円ベース）のリターンを享受することを目指すファンドです。
- 本レポートでは、クロッキー・オール・カントリー高配当株指数（以下、当指数）の足元の推移や注目銘柄についてご説明します。



足元の市場環境と運用状況について（2026年1月22日時点）

市場環境と当指数の推移

2025年12月の世界の株式市場は、概ね上昇しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）では市場予想通り利下げが決定され、市場参加者の警戒感が和らぎました。人工知能（AI）への過剰投資懸念が再燃したことを受け、一時株価が下落する局面が見られました。しかし、月後半は、2025年7-9月期の米実質国内総生産（GDP）成長率が強めであったことや、米大手半導体企業の決算が好感されたことを受けて、株価は上昇しました。2026年に入ってからは、グリーンランドを巡る欧米対立懸念が浮上した一方、米国の利下げ期待や底堅い経済指標などを背景に、もみ合う値動きとなっています。

設定来の騰落率は当指数+17.1%に対し、世界株式指数（MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（以下、ACWI）は+23.6%となっています（1月22日時点）。

当指数の運用状況

当指数の業種別構成比率を見ると、1位ヘルスケア（33.0%）、2位生活必需品（28.1%）、3位エネルギー（14.5%）となっています。配当利回りが総じて高い傾向にある2つのディフェンシブセクター（ヘルスケア、生活必需品）がポートフォリオの過半を占めるうえ、足元では上位3セクターで全体の75%以上を占める形となっています。

ディフェンシブ銘柄は業績が比較的安定しており、値動きが緩やかで割安な銘柄が多く、相場の不安定な局面では下支えが期待されます。12月に入ってからは、当指数（+7.3%）が世界株式指数（+3.6%）を上回る状態が続いている、相対パフォーマンスは改善傾向にあると言えます。

*「クロッキー・オール・カントリー高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが1996年に独自に開発した株式分析手法である「クロッキー・モデル」に基づき全世界の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指標です。

＜本資料についてご留意いただきたい事項＞

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

図表1 当指数と世界株式指数の推移

（期間 2024年9月27日～2026年1月22日、日次）

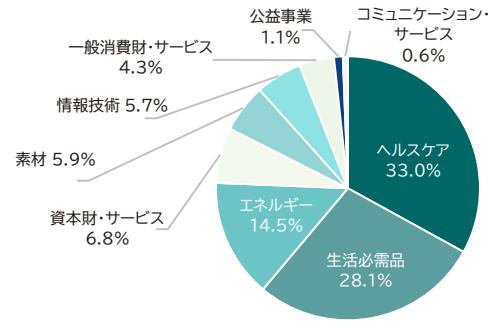


※2024年9月27日（設定日）を100として指数化（米ドルベース、配当込み）

※世界株式指数はMSCI ACWI Index

図表2 当指数の業種別構成比率

（2026年1月22日時点）



図表3 当指数構成銘柄の配当利回り上位10銘柄

（2026年1月22日時点）

企業名	投資国	セクター	配当利回り
1 アンペブ	ブラジル	生活必需品	14.5%
2 フォメント・エコノミコ・メヒカーノ	メキシコ	生活必需品	7.9%
3 クラフト・ハイツ	米国	生活必需品	7.0%
4 アルトリア・グループ	米国	生活必需品	6.8%
5 ファイザー	米国	ヘルスケア	6.6%
6 ベルノ・リカール	フランス	生活必需品	6.1%
7 アムコア	スイス	素材	6.0%
8 中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	中国	エネルギー	6.0%
9 HP	米国	情報技術	5.9%
10 インペリアル・ブランズ	英国	生活必需品	5.8%

※配当利回りは実績ベース（小数点第2位を四捨五入）

※セクターはGICS（世界産業分類基準）ベース

（図表1～3の出所）Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成



➤ 銘柄のご紹介 ギリアド・サイエンシズ(米国、ヘルスケア)

企業概要

ギリアド・サイエンシズは、米国・カリフォルニア州に本社を置くバイオ医薬品メーカーです。ギリアド・サイエンシズは1987年に創業され、35年以上にわたって治療薬の開発・商品化を行っています。特に、HIVや腫瘍、ウイルス性肝炎(B型肝炎、C型肝炎)、インフルエンザなどの感染症治療のための抗ウイルス剤の開発を事業の中心としています。

同社の株価は、2025年以降、足元にかけて当指数を上回るパフォーマンスを示しています。

ウイルス性疾患治療薬の開発と高い専門性が強み

ギリアド・サイエンシズはHIV治療薬やC型肝炎治療薬、レムデシビルなどのウイルス性疾患治療薬で有名です。特にHIV治療薬市場やC型肝炎治療薬市場では高いシェアを誇ります。

同社は、2030年までにオンコロジー(腫瘍)領域における売上高を全売上高の3分の1に引き上げ、「Top10オンコロジーカンパニー」となることを目指しています。同社は2012年に日本市場にも参入し、C型肝炎治療薬で大きな成功を収めました。今後は炎症性疾患やオンコロジー領域にも注力していくと見られています。

直近の四半期決算は市場予想から上振れ

ギリアド・サイエンシズの2025年7-9月期業績は、売上高が前年同期比+3.0%増の77.7億米ドル、調整後純利益は同+11.7%増の27.6億米ドルと、それぞれ市場予想を上回る内容となりました。

足元においては、新型コロナウイルス感染症治療薬の需要の落ち込みが見られた一方、HIV関連治療薬と肝疾患治療薬(レブデルジ)の売上の伸びが会社全体の売上を押し上げました。同社が有する高い研究開発力や専門性への期待が、今後の株価をサポートすると見込まれます。

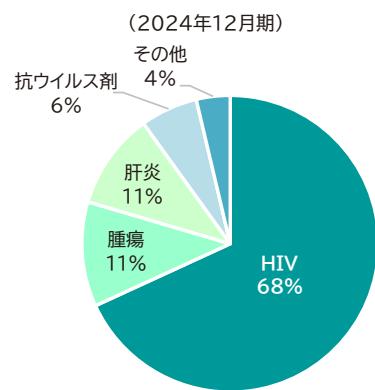
※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したものではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

図表4 同社の株価と当指数の推移

(期間 2024年12月31日～2026年1月22日、日次)



図表5 セグメント別売上高構成比率



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

図表6 同社の売上高と調整後純利益の推移

(期間 2020年度～2026年度、予想を含む)



※2025年度以降は予想

※同社の決算期末は12月

(図表4～6の出所) Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。



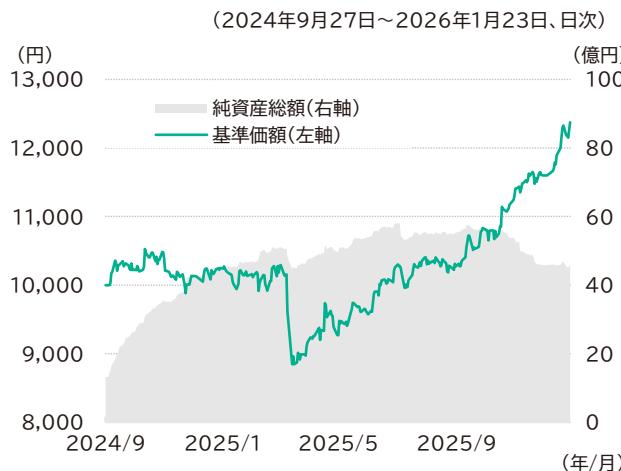
運用状況（作成基準日：2026年1月23日）

当ファンドの運用は、「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」を通じて行っており、銘柄の選定にあたっては、全世界株式からクロッキー・モデルを用いて好配当かつ割安と判断される企業を選定します。

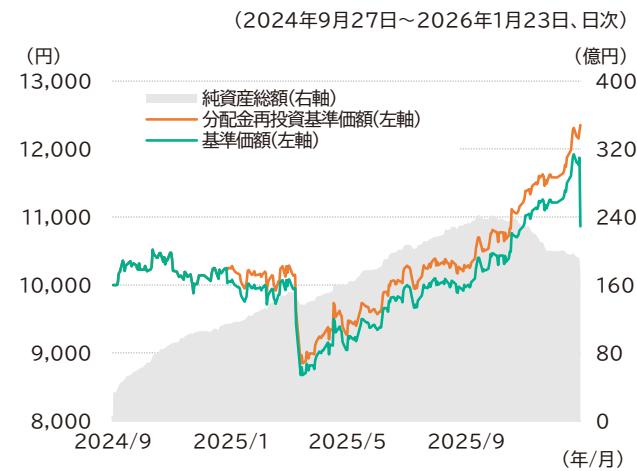
2024年9月27日に運用を開始した当ファンドの基準価額は、2026年1月23日時点では「資産成長型」が12,374円、「年4回決算型」が10,863円となっております。

なお、「年4回決算型」において1万口当たり1,100円(税引前)の収益分配を行いました。

資産成長型



年4回決算型



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額	12,374円
残存元本	3,694百万口
純資産総額	4,571百万円

ポートフォリオ構成比率

Collis Trust - CROCI AC Dividend Equity Fund	98.0%
マネー・リサイクル・マザーファンド	0.1%
短期金融商品・その他	1.9%

ファンドデータ

基準価額	10,863円
残存元本	16,071百万口
純資産総額	17,458百万円

ポートフォリオ構成比率

Collis Trust - CROCI AC Dividend Equity Fund	97.5%
マネー・リサイクル・マザーファンド	0.1%
短期金融商品・その他	2.3%

※構成比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

最近の分配金の推移

2025/1/23	200円
2025/4/23	40円
2025/7/23	40円
2025/10/23	40円
2026/1/23	1,100円
設定来合計	1,420円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

＜本資料についてご留意いただきたい事項＞

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、投資信託証券を通じて値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カウンターパーティ・リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。

※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料 : ありません。
 - 信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.25%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - : 純資産総額×年率0.913% (税抜0.83%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - : 純資産総額×年率1.493%程度
- その他費用・手数料
 - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
*野畠証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

*野畠証券株式会社は、「年4回決算型」のみの取扱いとなります。